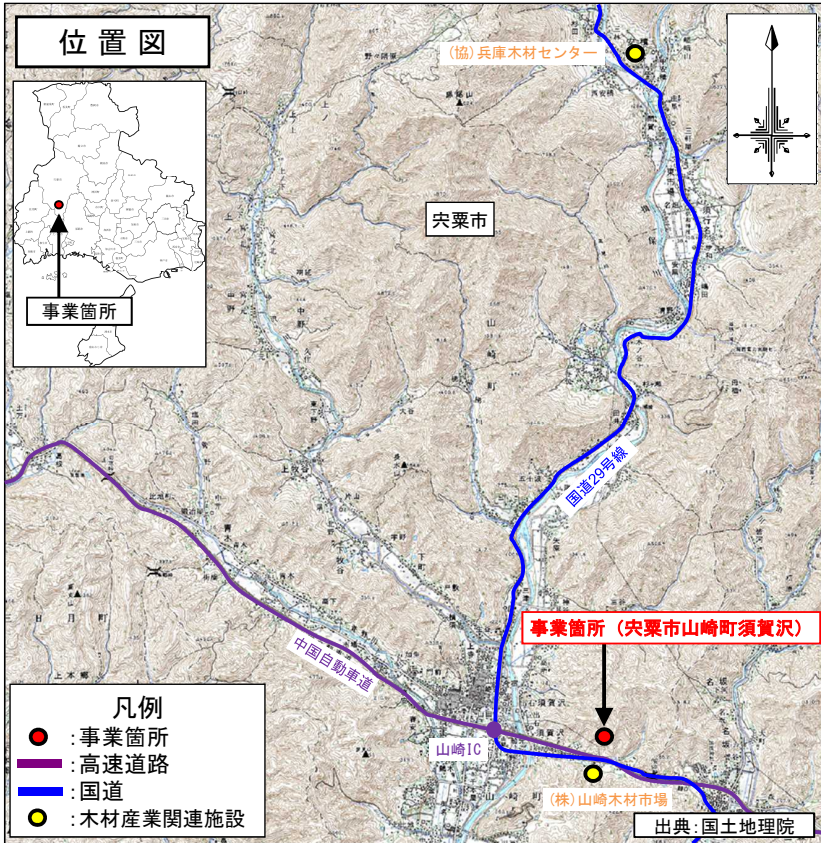


# 林業構造改善事業 木材加工流通施設整備[宍粟市山崎地区][新規]



## 目的

林業・木材産業の持続的かつ健全な発展に向けて、生産性の向上、地域材の利用促進等に資する施設の整備等に対し支援する。

## 事業概要

- ① 事業箇所: 宍粟市山崎町須賀沢
- ② 総事業費: 5.0億円
- ③ 事業期間: R4年度
- ④ 事業概要
  - ・実施方法: 補助
  - ・事業主体: 久我木材工業(株)(大阪市)
  - ・事業内容: プレカット加工機の導入(横架材加工機ほか)
- ⑤ 費用便益比B/C: 2.79

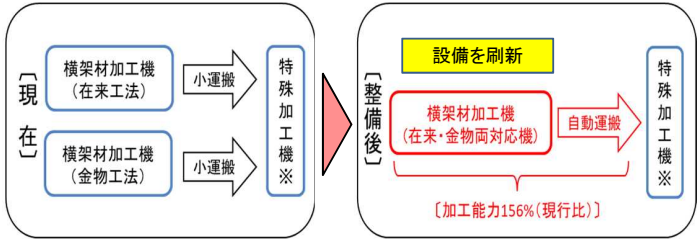
## 工程表

工種	R4								R5	
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
機械発注	■	■	■	■	■	■	■	■		
機械設置								■	■	■
調整・試運転										■

## 事業内容

横架材加工機(在来・金物両対応機)等一式の導入  
 ※当該機械の導入により加工ラインを強化し、県産プレカット加工製品等の生産量の増大を図る

### プレカット加工ラインの強化



※特殊加工機…斜め加工や大径材加工等、通常の機械で加工できない部材を加工する際に必要に応じて使用(製品全体の3割程度)

### 【県産プレカット加工製品の増産に向けた取組】

- 1 地元製材工場からの調達量を拡大  
 地元の製材工場等との供給協定の締結により、県産製材品の調達量を拡大
- 2 プレカット加工製品の受注拡大  
 ①新たに混合法や短納期物件に対応することで、工務店等からの受注を拡大  
 ②年間250棟を建築する県内ビルダーに県産プレカット加工製品を供給  
 ※同ビルダーは県産プレカット加工製品や但馬テイポスを活用した平屋モデルハウスを建築予定(R4.4)



## 事業効果

### <生産向上効果>

- 1 生産性の向上  
 最新型の設備を導入することにより、横架材の加工能力を向上  
 R3: 406㎡/人年 ⇒ R9: 544㎡/人年 (34%増加)
- 2 加工コストの低減  
 在来・金物で工法ごとに2ラインで対応している横架材加工を、両対応機の導入により1ライン対応とすることで作業を効率化  
 R3: 17千円/㎡ ⇒ R9: 14千円/㎡ (18%減少)

⇒1、2により在来・金物のメリットを併せ持つ混合法や、通常の半分の納期となる短納期物件への対応が可能となる。  
 (2週間で納品、通常は4週間)

### <県産プレカット加工製品の生産量と比率の拡大>

[プレカット加工製品生産量の現状(R3)と目標(R9)]

	現状 (R3)		目標 (R9)		伸び率 (R9/R3)
	生産量	比率	生産量	比率	
製品総生産量	15,012㎡	100%	20,116㎡	100%	134%
国産木材	5,952㎡	40%	8,531㎡	42%	143%
県産木材	2,264㎡	15%	4,885㎡	24%	216%
(県外産木材)	3,688㎡	25%	3,646㎡	18%	99%
外国産木材	9,060㎡	60%	11,585㎡	58%	128%

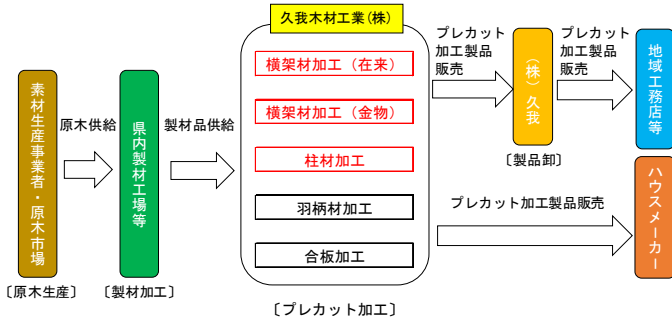
## 事業の必要性・優先性

住宅建築の木造軸組工法におけるプレカット加工製品の利用率は9割を占めており、ウッドショックにより高まっている国産材需要に対応するためには、県産木材加工製品の供給体制の強化が必要である。

また、ウッドショックを増産の好機として捉えた設備投資の支援であり、優先性の高い事業である。

### 【参考】

#### 1 久我木材工業(株)におけるプレカット加工・販売の流れ



#### 3 導入予定機械明細

	機械名	数量	概要
横架材加工機	横架材中間加工機	2台	横架材の両側面、上下面の加工
	横架材木口加工機	2台	横架材の木口面を加工
	横架材スリット加工機	2台	横架材の金物工法用スリットを加工
	ドリフトピン打機	1台	金物工法用ピン打ち加工
加工機	コンベア	2台	
	ボーリング付柱材欠き加工機	1台	金物工法用の上下ドリフト穴加工等
	コンベア	1台	
計		11台	

#### 2 横架材の工法ごとの特徴

- ◆在来工法(写真左)  
金物取付がないため、加工費・運送費を含め安価
- ◆金物工法(写真右)  
部材同士の接合部の欠損が少なく、木材強度を高く保てる
- ◆混合法  
建物部位ごとに求められる強度に応じて工法を使い分け、建築コストを抑えた、強度の高い住宅の提案が可能



導入予定機械と同型の横架材加工機